



文部科学省科学技術人材育成費補助事業  
「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（先端型）」

# 女性研究者

# 人材不足戦国時代を

# 乗り越える

令和5年度  
事業報告書

DIVERSITY

# Contents

ごあいさつ	1
和田 隆志 金沢大学長	1
長谷部 徳子 金沢大学学長補佐(ダイバーシティ推進担当) 金沢大学ダイバーシティ推進機構男女共同参画推進ユニット長	1
事業概要	2
実施体制	2
<b>1. 女性研究者の研究力強化と それによる上位職への登用促進</b>	<b>3</b>
女性研究者海外派遣支援	3
海外派遣に向けた英語研修	4
女性研究者大型研究費申請支援	5
<b>2. 女性研究者の裾野拡大・採用拡大</b>	<b>6</b>
大学間人材交流調査	6
博士後期課程の女子学生育成	6
ICTを活用したクロスアポイントメント制度の充実	7
分野別女性研究人材交流会開催支援	7
<b>3. より広いダイバーシティ研究環境の 形成に向けた意識啓発・行動改革</b>	<b>8</b>
男性育児休業取得促進	8
女性教員の業務マネジメントサポート	8
ダイバーシティ研究環境推進シンポジウムの開催	9
ダイバーシティ推進機構 男女共同参画推進ユニット スタッフ	

# ◆ごあいさつ



金沢大学長  
和田 隆志

金沢大学は「地域と世界に開かれた教育重視の研究大学」という基本理念に立脚し、「金沢大学未来ビジョン『志』」を掲げ「オール金沢大学で『未来知』により社会に貢献する」ことを目指しています。その実現には、学生・教職員に加え、卒業生・修了生、地域住民や産業界などの多くのステークホルダーの皆様とともに取り組むことが重要であると考えています。年齢、性別、国籍など属性が異なる多様な人材が、お互いを尊重し合い、一人ひとりが個性と能力を十分に発揮できる環境が必要です。

本学では、ダイバーシティ環境の整備推進に全学を挙げて取り組んでおります。文部科学省の科学技術人材育成費補助事業の採択も得て、さらに活動を大きく展開させています。令和4年4月にはダイバーシティ推進機構を設置いたしました。「金沢大学ダイバーシティ推進基本理念」に則り、女性研究者等の支援、外国人研究者・留学生の支援、LGBTQ+等の多様な背景や、障がいをもつ方々への支援に力を注ぎ、個性と能力を十分に発揮できる環境構築を進めています。また、関係機関等との連携を深めながら、広域の連携事業も実施しております。令和6年4月には、ダイバーシティ推進機構の部門を再編し、ダイバーシティ推進を基盤とした教育・研究を担う部門を新設いたします。多様な構成員への支援を拡充するとともに、その成果をもって国内外の社会に貢献してまいります。

私が強い信念とするのは、「人こそ宝、財産」です。誰もが自分らしく活躍できる環境づくりに、引き続き尽力してまいります。本報告書が本学の活動へのご理解を深める一助となることを祈念するとともに、今後ともご支援ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。



金沢大学学長補佐（ダイバーシティ推進担当）  
金沢大学ダイバーシティ推進機構男女共同参画推進ユニット長  
長谷部 徳子

金沢大学では、平成13年度に男女共同参画推進委員会を設置して以来、意欲ある女性研究者が活躍できる環境の整備や、北陸地域におけるネットワークの構築に取り組んでまいりました。また女性研究者の割合や採用比率の目標値を設定し、女性限定公募を活用することによる目標値クリアを目指してまいりましたが、まだまだ優秀な女性人材の掘り起こしが足りていないと実感しています。

令和3年度に採択していただきました「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(先端型)」では、海外派遣や大型研究費申請支援等、直接的な支援により女性研究人材の育成を加速するとともに、より幅広いダイバーシティ環境の実現が女性研究者の活躍促進には不可欠との考えから、男性の育児休業取得促進や、これまで構築した人的ネットワークやICTを活用することによる研究人材交流の活性化に取り組んでいます。しかしながら中間評価段階では、目標の一つとして掲げていた女性研究者割合を下回り、厳しい評価を受けました。

今後は女性研究者割合が増加しない要因を一つ一つ吟味しながら取組の効果を評価し、研究者にとってより良いダイバーシティ研究環境を当たり前にし、優秀な女性研究者が生き生きと活躍できる大学たるべく、努力を続けていきます。女性が活躍できる大学は、若手研究者や外国人研究者など、多様な人材が活躍を後押しできる大学です。HWRNや全国ダイバーシティネットワークと協調・協働することにより、北陸地域全体、ひいては我が国のダイバーシティ環境の実現につながることを目指したいと思っております。今後とも本事業の取組にご支援を賜りますよう、何卒よろしくお申し上げます。

1

女性研究者の研究力強化とそれによる上位職への登用促進

2

女性研究者の裾野拡大・採用拡大

3

より広いダイバーシティ研究環境の形成に向けた意識啓発・行動改革

# ◆ 事業概要

## 1 女性研究者 人材不足戦国時代を 乗り越える

北陸地域の女性研究者の活躍推進を牽引してきた金沢大学の実績を基盤に、女性研究者の研究力強化とそれによる上位職登用推進、女性研究者の裾野拡大・採用拡大、より広いダイバーシティ研究環境の形成に向けた意識啓発・行動改革のための取組を実施し、女性研究人材育成と活躍環境の最適化を目指します。

1 女性研究者の研究力強化とそれによる上位職への登用促進

2 女性研究者の裾野拡大・採用拡大

3 より広いダイバーシティ研究環境の形成に向けた意識啓発・行動改革

**女性研究者の研究力強化と裾野拡大・採用拡大**

- 大学間人材交流調査会議**  
全国ダイバーシティネットワーク組織 東海・北陸ブロックの参画機関と協同し、女性研究者の別居離職の解消や別居退学への支援策を議論するための調査と会議を実施します。
- 博士後期課程女子学生育成**  
金沢大学の「次世代精鋭人材創発プロジェクト」による経済支援に加え、博士後期課程女子学生のキャリア形成や研究推進に対するサポート体制を構築します。
- ICTを活用したクロスアポイントメント制度**  
多様な女性研究人材の採用の拡大や、育児・介護休業中の代替確保の容易化に向け、ICTを活用したクロスアポイントメント制度を構築します。
- 分野別研究人材交流会支援**  
産官学の人材交流を活性化するため、所属する学会等で研究者・技術者および女子学生の交流を促す取り組みを、リーダーシップをとって企画することを応援します。

### 女性研究人材の発掘

採用比率・博士後期課程女子学生比率  
**目標達成**

女性研究者比率  
**26%以上**

### 女性研究人材育成

女性教授比率  
**16%以上**

男性教員の育児休業取得率  
**10%以上**

### 意識・行動改革

CHANGE!!  
**女性研究人材不足の解消  
女性研究人材育成と活躍環境の最適化**



女性研究者の研究力強化とそれによる上位職への登用促進



#### 女性研究者の海外派遣

女性研究者の海外派遣を支援し、海外の優れたキャリアモデルに学ぶことによるマネジメント能力の向上、国際的な研究ネットワークの構築、派遣中の研究専念と国際共同研究による研究力向上・国際共著論文の増加、海外での生活による語学力の向上を図ります。



#### 大型研究費申請支援

大型研究費に申請した女性教員を対象に研究費を助成することにより、女性研究者の大型研究費への挑戦的な申請を後押しし、女性研究者の上位職登用につなげます。



より広いダイバーシティ研究環境の形成に向けた意識啓発・行動改革



#### 男性教員の育児休業取得促進

男性の育児休業への意識啓発のためのセミナー開催や男性の育児休業に関する相談対応を実施します。



#### 女性教員の研究時間確保のための業務マネジメントサポート

女性研究者の教育・運営に関する相談、教育に関するクロスアポイントメント制度の活用 の提案や、部局内の運営業務に関してアドバイスを行います。



#### シンポジウムの開催

より広いダイバーシティ研究環境の形成に向けた意識啓発のためのシンポジウムを開催します。



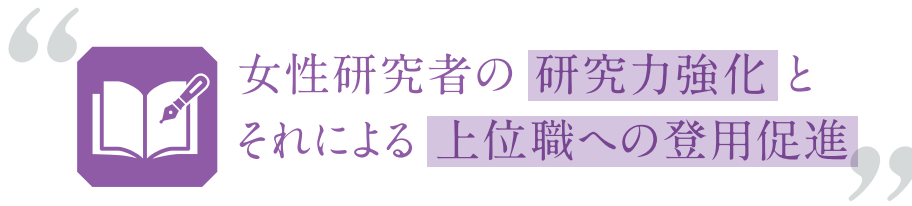
#### Webによる情報発信

Webサイト等を通じて、ダイバーシティ研究環境の形成に関する情報を発信します。

# ◆ 実施体制



◆ 事業 1



女性研究者海外派遣支援

女性研究者の海外派遣を支援し、海外の優れたキャリアモデルに学ぶことによるマネジメント能力の向上、国際的な研究ネットワークの構築、派遣中の研究専念と国際共同研究による研究力向上・国際共著論文の増加、海外での生活による語学力の向上を図ります。

今年度は本支援に10名の女性研究者が採択され、海外で研究活動を行いました。

令和5年度採択者

採択者	派遣先	派遣期間
人間社会研究域経済学経営学系・教授	シンガポール国立大学(シンガポール)	令和5年3月22日～4月27日
環日本海域環境研究センター・博士研究員	モンゴル国立大学(モンゴル)	令和5年3月24日～4月9日
環日本海域環境センター・教授	サビエンザ大学(イタリア)	令和5年7月11日～7月24日
人間社会研究域人文学系・特任助教	韓国南ソウル大学(韓国)	令和5年7月11日～7月28日
理工研究域電子情報通信学系・准教授	University of Sussex(英国)	令和5年8月8日～9月15日
人間社会学域学校教育系・准教授	VANAF-NU(オランダ)	令和5年9月2日～9月12日
国際機構・准教授	チャナツカレ・オンセキズ・マルト大学(トルコ) アンカラ大学(トルコ) ボアジチ大学(トルコ)	令和6年3月2日～3月20日 令和6年3月20日～3月22日 令和6年3月22日～3月26日
国際機構・准教授	ミーニョ大学(ポルトガル)	令和6年2月27日～3月9日
国際基幹教育員GS教育系・准教授	University of Sussex(英国)	令和6年2月18日～3月2日
人間社会研究域学校教育系・准教授	University of Birmingham(英国)	令和6年3月22日～3月29日

1

女性研究者の研究力強化とそれによる上位職への登用促進

2

女性研究者の裾野拡大・採用拡大

3

より広いダイバーシティ研究環境の形成に向けた意識啓発・行動改革



## 1

女性研究者の研究力強化と  
それによる上位職への登用促進

## ABC 海外派遣に向けた英語研修

女性研究者・博士後期課程女子学生を主な対象に、海外生活において必要な英語でのコミュニケーションスキルの向上を目指すことを目的として会話を中心とした授業を実施しました。

参加者からは、参加型の研修は堅苦しくなくいろいろな話ができてももしろかった、楽しく英語を学べてよかったですと好評で、海外での生活をイメージしながら、それぞれが刺激し合い学べる機会となりました。

### 「女性研究者のための英語研修」

講師 金沢大学非常勤講師 大谷 マーシャ 氏

#### 角間キャンパス

**会場** 金沢大学自然科学本館1階 ワークショップ1

**日時** 令和5年6月7日(水) 2限, 3限  
令和5年6月13日(火) 1限, 2限  
令和5年7月13日(木) 3限, 4限  
令和5年8月8日(火) 2限, 3限



#### 鶴間・宝町キャンパス

**会場** 金沢大学保健学類1号館2階1217講義室アクティブラーニングスペース

**日時** 令和5年6月15日(木) 3限, 4限  
令和5年7月1日(土) 10:00~12:00

**会場** 金沢大学附属病院CPDセンター(外来診療棟4階)

**日時** 令和5年6月17日(土) 10:00~12:00  
令和5年8月10日(木) 3限, 4限



## 2

女性研究者の裾野拡大・採用拡大

## 3

より広いダイバーシティ研究環境の  
形成に向けた意識啓発・行動改革



## 女性研究者大型研究費申請支援

大型研究費に申請した女性教員を対象に研究費を助成することにより、女性研究者の大型研究費への挑戦的な申請と採択を後押しし、女性研究者の上位職登用につなげます。

今年度は本支援に10名の女性研究者が採択されました。

### 令和5年度採択者

採択者	支援対象の研究費
がん進展制御研究所・教授	AMED・次世代がん医療加速化研究事業
医薬保健研究域・助教	JST・さきがけ
医薬保健研究域・助教	科学研究費・挑戦的研究(開拓)
融合研究域・講師	科学研究費・基盤研究(C)
理工研究域・特任助教	科学研究費・若手研究
附属病院・特任助教	科学研究費・基盤研究(B)
人間社会研究域・教授	科学研究費・基盤研究(B)
理工研究域・准教授	科学研究費・基盤研究(B)
ナノ生命科学研究所・教授	科学研究費・基盤研究(B)
人間社会研究域・准教授	科学研究費・学術変革領域研究(A)計画研究

1

女性研究者の研究力強化とそれによる上位職への登用促進

2

女性研究者の裾野拡大・採用拡大

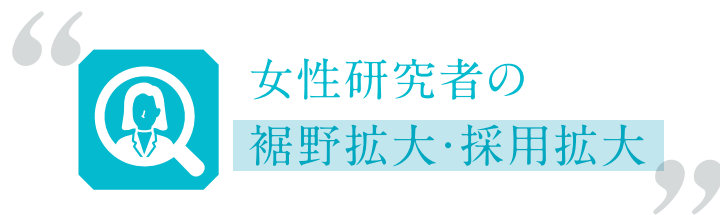
3

より広いダイバーシティ研究環境の形成に向けた意識啓発・行動改革

◆ 事業 2

1

女性研究者の研究力強化とそれによる上位職への登用促進



大学間人材交流調査

令和3年度～令和4年度に金沢大学，富山県立大学，静岡大学の3機関で実施した「パートナーとの同居・別居実態調査」の調査結果を受け，クロスアポイントメントや共同研究を足掛かりとした人材交流について議論しました。また，別途調査により2名の女性研究者が金沢大学に着任したことで，別居婚の解消に結び付きました。



博士後期課程の女子学生育成

博士後期課程・博士課程女子学生支援制度

金沢大学の「次世代精鋭人材創発プロジェクト」による経済支援に加え，博士後期課程女子学生の育成に関する取組を支援することにより，女性研究者の裾野拡大につなげます。また，メンターチームリーダーには必ず女性教員を配置し，キャリア形成へのサポートすることとします。

今年度は5件のメンターチームを採択し，5名の女子学生の育成を支援しました。

採択者	メンターチームリーダー	支援対象者
人間社会研究域・教授	医薬保健研究域・教授	新学術創成研究・博士後期課程1年
医薬保健研究域・教授	医薬保健研究域・助教	医薬保健学総合研究科・博士後期課程3年
理工研究域・教授	環日本海環境研究センター・教授	自然科学研究科・博士後期課程3年
理工研究域・教授	理工研究域・准教授	自然科学研究科・博士後期課程1年
附属病院・教授	附属病院・特任助教	医薬保健学総合研究科・博士後期課程2年

ロールモデル動画「研究者へのススメーWe are rooting for you!」

博士後期課程・博士課程への進学促進の一環として，金沢大学で活躍している女性研究者4名に焦点をあてたロールモデル動画を公開しました。動画は[金沢大学ダイバーシティ推進機構のWebサイト](#)および，[金沢大学のYouTubeチャンネル](#)にて公開中です。

[金沢大学ダイバーシティ推進機構のWebサイト](#) [はこちら](#)

[金沢大学のYouTubeチャンネル](#) [はこちら](#)

2

女性研究者の裾野拡大・採用拡大

3

より広いダイバーシティ研究環境の形成に向けた意識啓発・行動改革





### ICTを活用したクロスアポイントメント制度の充実

多様な女性研究人材の採用の拡大や、育児・介護休業中の代替確保の容易化に向け、ICTを活用したクロスアポイントメント制度を構築します。



### 分野別女性研究人材交流会開催支援

産官学の人材交流を活性化するため、所属する学会等で研究者・技術者および女子学生の交流を促す取り組みを、リーダーシップをとって企画することを支援します。

今年度は2件の女性研究者交流会の開催を支援しました。

#### 令和5年度採択者

採択者	分野
医薬保健研究域・助教	医薬保健分野
子どものこころの発達研究センター・特任助教	医薬保健分野

#### 女性研究者向け採用プロモーション動画

女性限定公募に応募する女性研究者の増加を目的とし、学長をはじめ大学で活躍している研究者11名が金沢大学の魅力を伝える動画を公開しました。動画は分野別女性研究人材交流会開催支援を受けて開催された交流会で活用した他、[金沢大学ダイバーシティ推進機構のWebサイト](#)および、[金沢大学のYouTubeチャンネル](#)にて公開しました。

## ◆ 事業 3

“

より広いダイバーシティ研究環境の  
形成に向けた 意識啓発・行動改革”

1

女性研究者の研究力強化と  
それによる上位職への登用促進

## 男性育児休業取得促進

## ダイバーシティ推進機構

## 令和5年度男性育児休業取得促進セミナーの開催

日時 令和5年11月14日(火) 13:30~15:00

形式 オンライン開催

オンデマンド配信

(期間 令和5年11月24日(金)~令和6年1月31日(水))

講師 日本大学常務理事, NPO法人ウッドデッキ代表理事 渡辺 美代子 氏



2

女性研究者の裾野拡大・採用拡大

男性教員の育児休業取得促進を趣旨とし、学外を含む大学教職員および学生を対象に「男性育児休業取得促進セミナー」をオンラインにて開催しました。日本大学常務理事, NPO法人ウッドデッキ代表理事 渡辺美代子氏から、「男性の家庭参画から広がるイノベーション」と題し、持続可能な開発目標SDGsの達成度評価において課題とされている日本のジェンダー平等を、どのようにイノベーションにつなげていけるのか、全ての人の個性と意思が尊重されるための方策を、男性の家庭参画と絡めながらご講演いただきました。

学内外から幅広く参加があり、参加者からは「男性育休の普及に金沢大学が一石投げられるような貴重な講演だったと思います。多くの男性職員にも聴いてほしい内容でした」、「無意識の思い込みを払拭していくことの難しさと、大切さを考えました」、また学生からは「講演を受け、将来の働き方を考えるよい機会となりました」という感想をいただき、従来の性別に対する無意識の思い込みを払拭し男性が家庭へ参画することの必要性について考えるきっかけとなりました。

本セミナーは学内向けにオンデマンドで視聴可能な形でも公開し、オンラインおよびオンデマンド配信を合わせて、約140名の方にご視聴いただきました。

3

より広いダイバーシティ研究環境の  
形成に向けた意識啓発・行動改革

## 女性教員の業務マネジメントサポート

金沢大学ダイバーシティ推進機構ワークライフバランス部門(旧ワークライフバランスサポートオフィス)において、女性研究者の教育・運営に関する相談や教育に関するクロスアポイントメント制度の活用を提案を行っています。

## 研究者交流会「はあざみサロン」開催

日時 令和5年6月8日(木) 12:00~13:30

会場 角間キャンパス中福利施設2階 交流スペース“OKUOKU”

日頃感じている仕事と家庭の両立や育児についての悩みや情報交換など、気軽に話し合える場を設けることで、研究者同士のつながりを作る目的で交流会を開催しました。

参加者(計8名)は子育てと仕事の両立の仕方を相談や、地域の暮らしについての情報交換を行うなどして、終始和やかな雰囲気の中昼食をとりながら楽しいひと時を過ごしました。



## ダイバーシティ研究環境推進シンポジウムの開催

日時 令和6年3月19日(火) 15:30~17:00

形式 対面およびオンライン

令和3年度に文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(先端型)」に選定されたことを機に、男女共同参画の推進にとどまらない、より包括的なダイバーシティ教育研究環境の実現に向けて取り組んでいます。

組織の成長を促進するために重要な「ダイバーシティ&インクルージョン」について理解を深めることを目的としシンポジウムを開催しました。

基調講演では、ファイザー株式会社 代表取締役社長 原田 明久 氏をお迎えし、「ダイバーシティの重要性」をテーマにご講演いただきました。

当日は、大学、企業、行政機関などから約80名の方々にご参加いただき、参加者は、「これまでダイバーシティについて考えたことがなかったので考えさせられた。自身にできることや何ができるのか考え、実行できるようにしたいと思った」、「ダイバーシティを通して、あらゆることが運動的にポジティブに作用することを知った」、「今は学生で教員・職員よりはダイバーシティを意識していなくても周りとの隔たりを感じていないが、全体を通してメンバー1人1人の意識が異なる上で底上げしていく環境が大切だと理解できた」と、ダイバーシティの重要性について理解を深めました。



## Program

- 15:30- -----  
開会挨拶/金沢大学長 和田 隆志
- 15:35- -----  
来賓挨拶/文部科学省 科学技術・学術政策局 人材政策課 人材政策推進室室長 高見暁子 氏
- 15:40- -----  
ダイバーシティ推進機構の取組紹介 金沢大学ダイバーシティ推進副機構長 長谷部 徳子
- 15:55- -----  
基調講演/  
「ダイバーシティの重要性」 ファイザー株式会社 代表取締役社長 原田 明久 氏
- 16:55- -----  
閉会挨拶/金沢大学ダイバーシティ推進担当理事/副学長・ダイバーシティ推進機構長 山岸 雅子

## 金沢大学ダイバーシティ推進宣言

令和5年12月14日付で金沢大学長より「金沢大学ダイバーシティ推進宣言」を発出しました。さまざまな属性・個性をもつ一人一人の構成員が誇りをもって互いに認め合い、修学・研究・業務において、志高く自らの能力を最大限に発揮できる公正性が保障された環境を実現するため、多様性、公正性、包括性(Diversity, Equity&Inclusion: DEI)の実践と促進を宣言しました。

## 男女共同参画推進ユニット スタッフ

### ユニット長・キャリアデザイン部門長

長谷部 徳子／環日本海域環境研究センター 教授

### ワークライフバランス部門長

柿川 真紀子／理工研究域生命理工学系 准教授

### 次世代育成部門長

児玉 昭雄／新学術創成研究機構 教授

### ユニット協力教員

眞鍋 知子／融合研究域融合科学系 教授

古畑 徹／人間社会研究域国際学系 教授

新井 豊子／理工研究域数物科学系 教授

佐藤 涉／理工研究域物質化学系 教授

森下 英理子／医薬保健研究域保健学系 教授

中島 美紀／ナノ生命科学研究所 教授

滝口 昇／理工研究域フロンティア工学系 准教授

西脇 ゆり／融合研究域融合科学系 講師

### ユニット職員

江口 友佳子／特任助教

福士 美和／ワークライフバランス部門相談員

瀧本 奈々／事務補佐員